

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	教師用教科書・指導書・副読本購入事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	01	04	02
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	西村 淳			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小中学校25校	意図	教師用教科書及び指導書等を準備することにより、教科指導の充実を図る。また、音読ながれやま・社会科副読本により、授業の充実を図る。
事業内容	教科指導の充実のために教師用教科書及び指導書等を準備する。 小中1年生に「音読ながれやま」を、小学3年生・中学1年生に「社会科副読本」を配布する。			
事業開始から現在までの状況変化	教師用教科書及び指導書等をすべての小中学校に整備する。26年度は小学校、27年度は中学校の教科書採択にともなう教科書、指導書の整備を行った。また、26年度、27年度は小学校英語活動用副読本の購入を進めた。29年度は小学校道徳の教科書、指導書の整備を行った。近年の児童生徒数増にともない教科書、指導書を確実に配布すべく在庫状況等を調査し、慎重に整備を進めた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	教科書	1,700	2,215	2,998	冊	↑↑↑
②	指導書	1,171	976	1,001	冊	↑↑↑	
③	副読本	6,680	5,370	7,030	冊	↑↑↑	
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	現在、流山市小中学校在籍教師のうち約30%が20歳台となり、指導書、副読本配布の充実は若手教員の指導力を高める手立てとなっている。		目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		児童生徒の指導にあたる教師、講師、初任者指導員やサポート教員、ALT等の教科書及び指導書を準備することにより、指導効果の向上を図っている。		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	小学校、中学校とも「社会科副読本」を配布し、郷土をよく知る学習に役立てている。 「音読ながれやま」を全小中学生に配布し、学習指導要領の重点である「言語活動の充実」を図っている。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	17,851,024	14,595,990	11,410,050				
事業費(b)(円)	14,418,524	11,239,990	8,114,050				
うち一般財源	14,418,524	11,239,990	8,114,050				
職員給与と費(c)(円)	3,432,500	3,356,000	3,296,000				
人役・職員(人)	0.50	0.50	0.50				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	学級増分の教師用教科書及び指導書を整備することにより、学習指導の充実を図る。	③取組における課題(Check)	今後も児童生徒数の増加を見据えた準備が必要である。また、若手教員の増加に伴い、指導書等の整備も必要である。
②H30に実施した取組(Do)	学級増分の教師用教科書及び指導書を整備することにより、学習指導の充実を図った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	小、中学校の教師用教科書、指導書の整備をすすめていく。また、教科数増（外国語、道徳）に対応していく。